

優れた、より良い福祉コミュニティをめざして

# まほろば

ふれあいネットワーク

## 社協広報

第 22 号

### 子育て支援活動の動向



## ひと味ちがう児童館スペース

学校と家庭の中間に置かれた児童館。子どもたちにとっては、学校と家庭のどちらからも味わうことのできないところのスペースが、日々創造されています。

写真／ふれあいの館（児童館）・ふれあい童夢から

# 子育て支援活動の動向

国の児童福祉施策として、厚生労働省（児童家庭局育成環境課）では、地域における保育需要に対応するため、平成6年から「今後の子育て支援のための基本的方向性について（エンゼルプラン）」及び「当面の緊急保育を推進するための基本的考え方（緊急保育対策5か年事業）」に基づき、保育所における特別保育事業の推進に努めてきていますが、平成10年に児童福祉法の改正の趣旨を踏まえ、利用者の利便に配慮した保育サービスの総合的な展開を図る観点から、「特別保育事業実施要綱」を定め、平成10年4月1日から実施されています。

この「特別保育事業実施要綱」には、共働き家庭の増加、核家族化の進行等に対応し、就労と育児の両立支援を総合的に推進するために、地域の需要を踏まえて、延長保育、一時保育、地域の子育て支援等、8つの項目をあげています。

本誌では、こうした施策の流れの中で、子育て支援活動がどのように展開されているのか、村内外の動向を中心に取り上げてみました。

## 村内の子育て支援事業の紹介

(平成12年度末現在)

<b>■健康診断（内科診察、身体測定、歯科診察、発達・栄養・歯科・育児相談等）</b>	
○乳児検診	【場所／トレーニングセンター(対象／満4・7・10ヶ月)】
○幼児診断	【場所／トレーニングセンター(対象／1歳6ヶ月児・3歳児)】
<b>■相談事業（親子遊び、心理・発達・栄養・育児・歯科・母乳相談等）</b>	
○2歳児健康相談	【場所／トレーニングセンター(対象／2歳児)】
○母乳・育児相談	【場所／トレーニングセンター(対象／乳児・産婦他)】
○ラビットサロン	【場所／ふれあいの館(対象／乳幼児)】
○育児相談	【場所／役場住民課(対象／乳幼児・産婦他)】
○心理相談	【場所／トレーニングセンター(対象／母子)】
<b>■教室（親子遊び、グループワーク、心理・発達・育児相談、離乳食講話、調理実習、虫歯予防、妊娠中の生活や、お産・育児の講話・体験）</b>	
○風の子広場	【場所／トレーニングセンター(対象／入園前の母子)】
○離乳食教室	【場所／トレーニングセンター(対象／乳児の保護者)】
○アンパンマン教室	【場所／トレーニングセンター(対象／1歳6ヶ月検診終了者)】
○たまごの会	【場所／トレーニングセンター(対象／妊婦・夫)】
○いものこ学級	【場所／トレーニングセンター(対象／2歳から保育園入園前の幼児と親)】
○家庭教育学級	【場所／トレーニングセンター(対象／幼児・児童その親)】
○放課後児童対策事業「ちびっこ楽舎」【場所／ふれあいの館(対象／小学1年生～3年生までの登録児童)】	
○各種母親クラブ・子育てサークル活動【場所／ふれあいの館等(対象／一般)】	

## 子育て支援と一時的保育について

妙義保育園／大野田やす子さん



様々な社会情勢がめまぐるしく変化する中で、保育ニーズも多様化し、通常の保育業務だけでは対応できない実態を受け、塩尻市では平成3年度から一時的保育が開始されました。市の中心地の一保育園において、担当保育士を1名配置し国の補助金事業の一環として、1時間／未満児・200円、1時間／3歳児以上・150円と料金が設定されました。

当初は、「子どもが入院してしまい下の子供を預かってもらえないか」「転勤して来たばかりで妻が出産の為実家の母親が来るまでの間、子どもを見てもらえないか」などの、緊急を要する内容が主でありました。

平成6年、エンゼルプランの策定を受けて、一時的保育で預ける理由が拡大され、現在2園で実施されています。非定形型保育・緊急保育・育児リフレッシュ等の3項目において、平日及び土曜日の7時30分～18時まで、保育士2名を配置し、生後3ヶ月以上就学前の乳幼児を、1時間／未満児・400円、1時間／3歳児以上・200円で対応しています。1日の定員枠を10名とし、前もって受付をしていただいておりますが、緊急を要する子供さんを優先しています。近隣の市町村からの利用に関しては、定員に余裕のある場合のみ受け入れることもあります。

乳幼児を一時的に預け自分の時間を持つことで、母親（保護者）が自分はどういった形で社会に参画したいのかなどを考える余裕を持つこと、また最近社会問題になっている虐待などに至らない為にも、時には子どもから離れることでストレスを減らし、気持ちを切り替えて子どもと向き合うことができるのではないのでしょうか。

公立の保育園であるからこそ、低料金で預けられ、専門スタッフが揃っているというメリットもあります。母親（保護者）が、余裕をもって生き生きと子育てに向かえるような支援をしていきたいものです。

## 子育て期の親（母）と子を支える

ベビーシッターの会“ケア・チャイルド”／奥原藤子さん



私は松本エリアを中心に、保育サービスをしている「ベビーシッターの会／ケア・チャイルド」の会員として、集団託児をしています。

この会は、平成5年8月に結成された自主運営の有償ボランティアのグループです。保育サービスを行い、女性の文化教養、就労を支援すると共に幼児の福祉の増進に寄与することを目的として活動しています。

この事業を運営していく上で、子どもを預ける親にお願いしていることは、どうして預けるのか（勉強をしてくるとか、話を聞いてくる、急を要する事柄等）を子どもに話して連れてきてもらうということと、託児が終わって迎えに来た時には、お子さんをしっかり抱いて、「よくいい子に遊んでいられたね」と誉めてあげてほしいということです。親の都合で預けられる子どもは、淋しい思いをし、我慢もしています。そういった子どもの気持ちを考え、またこういった状況になった時の事を含め、しっかりフォローをしてほしいと思います。

子育て中の親は、1日中子どもとべったりになりがちで、子育ても思うようにいかなかったり、何かしたいと思っても子どもがいるため出来ないことも多く、ストレスがたまることも多々あると思います。また、毎日働きに出ている方にとっても、それ以上の負担を感じることもあると思います。こんな時、地域に子どもを気軽に安心して預けられる場、保育園、託児所、ベビーシッター、託児ボランティア等、子育てをされている方の要望に応えられる支援が多くなってきていると思いますので、利用してみるのも良いと思います。

皆さん自身も身近なところから、こういったボランティア活動等をしてみてはいかがでしょうか。

私たちはこれからも、より多くの支援ができるような社会になることを願い、活動していきたいと思っております。

## 地域の中で子育てを

主任児童委員／青沼瑞穂さん



先頃『義理の親を毛嫌いするママ達』と言う投稿が新聞に載りました。自分の親ならば我が子を預けてもいいけれど、夫の親には絶対にイヤという若いママ達が多いのだそうです。私はこれを読んでとても悲しくなりました。子育てって本当に大変です。なぜこんなに泣くの？食べないの？熱ばかりだすの？等、振り回されてもうクタクタ。せめてパートナーが「ご苦労さん」と言ってくれたら一瞬にして肩の力が抜けるのに……………。

村内でも、子育て支援として、ラビットサロンや、いものこ学級等行っていますし、保健婦さん・保育士さん達も、よく話を聞いてくれたり力になってくれます。それにこれからは、働くお母さんを支援する事業を早急に進めていかななくてはならないでしょう。

しかしその前に、自分の周りの生活環境（ご両親も含めて）を考えてみると、もっと地域の方、ご近所の方々と声を掛け合えるような関係が出来ていたらどうでしょうか。「どうしたの？」「元気？」「大きくなったのねー。」などちょっと声をかけてくれる方が居るだけで、どれだけ気持ちが楽になるか。

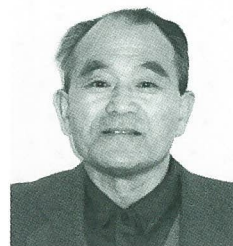
私事ですが、子育て中に、あるとき大雪で身動きがとれなくなり、お隣さんと子どもを預かりっこして交代で買い物に行ったり、病気になっても「うちの子もこうだったから大丈夫よ。」の一言に安心したりと、色々な面で本当に助けてもらいました。この時ほど『近くの人』とはよく言ったものだと思います。

子どもにとっても、色々な人とのふれあいや会話することで刺激を受け、成長していくことはとても幸せなことだと思いますし、大勢の人と接することで「思いやり」や「優しさ」も生まれてくるのだと思います。

ぜひ自分の周りに知り合いを作りましょう。「こんにちは」の一言からすべては始まりますので。

## 地域での取り組みの必要性

山形村子ども会育成会々長／上條智佐雄さん



「今日も作ろう、家族の時間」「励まして、誉めて伸ばす芽、地域の宝」「育てよう、若いいぶきをこの村に」。村の中で、6箇所にこの3つの標語のうち2つを記した手作りの看板を掲示しているのを目にされている方はいると思う。早いもので看板設置から10年が経過している。「山形村子ども会育成会」と名称は変わっても、支え合い、助け合い、地域での子どもの健全育成の支援を行ってきた。

育成会は、全村民（全戸加入）が会員であるが、「子どもがいないから…………」「もう大きくなってしまったので…………」と、関係していた期間を過ぎてしまうと、関心が薄くなってしまおうといった傾向ではないかと思う。また、「会費を納めておけば、役員の方でやってくれる」と、人まかせな考えの方も意外と多いと思われる。

2002年の学校週5日制を目前にして、新世紀を担う子どもたちを、これからは今まで以上に、地域としての健全育成事業を行うことにより、学校とはまたちがった事を学ぶことが出来ると思う。そして、子どもたちが自分たちで作りに上げていく「子ども会」の育成等支援していけるよう考えている。村の中（地域）、6地区が、皆同じ事をするのではなく、各地区の特色を出した支援を考えていくことが必要だと思われる。昔の話をしたり、昔懐かしい遊びを教えたり、家の子よその子も関係なく、誰もが気軽に子どもたちと接する事ができるようにしていくことも必要になってくると思われる。

冒頭の看板もその一端ではあるが、育成会は地域住民に対して、一層強くPRする必要性を感じている。

## 地域福祉課題をみんなで考える学習講座

# 「山形まほろばカレッジ」に参加してみよう

21世紀をむかえ、私たちを取り巻く社会福祉の環境は大きく変化しています。このような中で、従来からの福祉関係機関の機能・役割をあらためて見つめ直し、新しい時代にあった活動が模索されています。山形村社会福祉協議会では、「山形まほろばカレッジ」を開校し、これを拠点に、地域における福祉課題の学習を行うと共に、この山形村を真の意味で「まほろば」（優れた、より良い福祉コミュニティー）とするための活動を実践して行こうと、平成12年9月から、受講生の皆さんと共に勉強して参りました。平成13年1月からは地域福祉、障害者福祉に分かれ実習をしています。

ここで、各実習の受講生より現在の近況等ご寄稿いただきましたので、ご紹介致します。

### ●地域福祉実習履修生／宮沢和子さん

私は、波田町在住ですが、このまほろばカレッジを受講させていただきました。山形村の横山医院に勤務して8年ほどになりますが、山形村のことをもっと知りたいと思っていたところ、学習講座の案内を目にし、まっ先に目に飛び込んできたのが、カレッジ、キャンパス、第1期学生募集などといった言葉で、何かとても新鮮に思えました。福祉講座のテーマや、講座内容がバラエティーに富み、各界からの講師の方から話が聞けると言うことと、同じ職場の方も参加するというので、「これなら心強いかな」と思い入学させていただきました。主婦にとっては忙しい夜の時間ではありましたが、この日だけはやる事だけすばやく済ませ、充実した時を過ごすことができました。講義内容はそれぞれの講師の方々の熱意が伝わり、取り組む姿勢や、人間としての関わりに心から満足感を味わうことができました。

児童、老人、障害者福祉、若者が考える福祉等、地域の人たちのサポートがあればより人間らしく生きられる、生きていけることを実感しました。社会全体の在り方が問われる今、生きる目的、生きがいをもっとつきつめ、積極的に自分らしく歩んでいかなければと感じました。



### ●障害者福祉実習履修生／吉川治実さん

昨年まほろばカレッジで、地域、障害者、児童福祉活動について講座を受けました。それぞれの分野での福祉活動に取り組む方々の熱意が伝わる講義でした。ファミリーサポートセンターや、デイ保育、保護者の保育ママ体験等の子育て支援のお話では、子育てを家庭だけでなく地域の中で共に考えるというものでした。

老人を対象にした社協での「いきいきサロン」もやはり地域での潤いのある生活を支援していこうというものでした。また、地域住民のつながりの深さが災害時に力を発揮した事例等、同じ地域に暮らす者同士の支え合いの大切さを学べたように思えます。

この1月からは実習に入り、私は障害者福祉実習を選択しました。「障害」と聞くと何か特別なことと考えがちですが、全ての人がある当事者となり得ることであり、当事者の立場に立って考えることができるようになることが必要です。自分の中の障害者に対する意識や考え方を変えたい。地域の中で分け隔てなく、みんなで支え合い、補い合って、住み良い地域を考えていきたい。私は、今回の学習をそのための第一歩にしたいと思います。



「庭いっぱいのかげしの花」 笹川忠良さん（下北沖連絡班）



「手作りの雛人形」 村瀬優文子さん（橋爪東連絡班）

## あたたかな善意、ありがとうございました

### ◇平成12年度／赤い羽根・歳末たすけあい共同募金の実施結果◇

平成12年度の赤い羽根・歳末たすけあい共同募金運動を、昨年10月1日から年末にかけて実施したところ、次のような実績となりました。この募金は、その一部が平成13年度において、配分金として村社協へ交付され、各種福祉事業に充てられます。(収納された募金は、平成13年1月15日付にて長野県共同募金会へ全額送金。)

【単位：円】

上大池	中大池	小 坂	下大池	上竹田	下竹田	職域他	募金総額
233,500	174,000	408,000	158,500	422,900	476,000	23,536	1,896,436

### ◇平成12年度／日赤社資収納運動の実施結果◇

平成12年度の日赤山形村分区社資収納運動を、昨年5月1日から31日までの間実施したところ、次のような実績となりました。(収納された社資は、平成12年8月10日付にて日本赤十字社長野県支部へ全額送金。)

【単位：円】

	上大池	中大池	小 坂	下大池	上竹田	下竹田	合 計
社 費	110,000	150,000	252,000	115,000	288,000	307,000	1,222,000
寄 附 金	56,000	7,500	55,000	55,000	61,000	73,400	274,400
社費総額	166,000	157,500	307,000	307,000	349,000	380,400	1,496,400

### ◇健康と福祉のつどい（平成12年11月25日／於トレセンふるさと大ホール）

山形村社会福祉協議会々長表彰／被表彰者の紹介

○福祉活動功労者／籾町 健さん（下大池） ○福祉事業協力者／JA松本ハイランド山形支所女性部  
 上條 栄さん（下竹田）  
 土田朋子さん（下竹田）  
 上条森司さん（小 坂） (斉藤会長から表彰状が贈られた)

### ◇社協への寄附金等の紹介◇【平成12年3月以降／敬称略】

○岩下 勇 (下大池)	物品寄贈
○ちびっこ楽舎親の会	時計／えんぴつけずり
○永田絢子 (小 坂)	電動ベット／車椅子／介護用品
○上條久仁人 (上竹田)	介護着／おむつカバー／介護用品
○中川俊哲 (上大池)	アカザの杖
○匿名希望 (山形村)	靴下60足
○村瀬倭文子 (下大池)	おひなさまセット20個
○青柳富貴 (小 坂)	物ちぎり紙6枚

○山形村保健補導員会	金 35,264円
○上竹田保健補導員会	金 10,000円
○清水口貞夫	金 50,000円
○匿名希望	金 50,000円
○山形村商工会女性部	金 40,000円



## ◇平成12年度／山形村社会福祉協議会会費の実施結果◇

平成12年度の山形村社会福祉協議会（普通・賛助・特別）会費加入につきましては、次のように大勢の皆様からご協力をいただきました。厚くお礼申し上げますとともに、地域福祉活動等に有効利用させていただきます。

## ●山形村社会福祉協議会／普通会費（1口／1,500円 平成13年2月28日現在）

連絡班名	普通会員数	金額	連絡班名	普通会員数	金額	連絡班名	普通会員数	金額	連絡班名	普通会員数	金額
豆沢南	17	25,500	堂村上	19	28,500	城ヶ沢	23	34,500	神明	36	54,000
豆沢北	18	27,000	堂村下	11	16,500	唐沢下	25	37,500	荒川	27	40,500
青木沢南	18	27,000	寺林	7	10,500	四ツ谷上	36	54,000	上手村	27	40,500
青木沢中	6	9,000	小坂東	8	12,000	四ツ谷下	37	55,500	西下	17	25,500
青木沢北	23	34,500	清水	12	18,000	原村上	19	28,500	北村	18	27,000
中耕地西	16	24,000	本殿上	20	30,000	原村東	18	27,000	南中	30	45,000
中耕地東	20	30,000	本殿下	16	24,000	宮村	28	42,000	北中	20	30,000
久保	17	25,500	東殿	16	24,000	殿村	27	40,500	南堀	30	45,000
堤南	30	45,000	上北沖	18	27,000	中耕地	30	45,000	北堀	18	27,000
堤北	24	36,000	中北沖	27	40,500	上竹田中村	34	51,000	竹原	32	48,000
淀の内	45	67,500	下北沖	51	76,500	御判形	40	60,000	原町	27	40,500
上手西	20	30,000	上中原	24	36,000	下本郷	48	72,000	北竹原	11	16,500
上手東	16	24,000	中原町	35	52,500	新和	23	34,500	竹田原	29	43,500
野際	30	45,000	新町	27	40,500	四ツ谷西	22	33,000	三夜塚	34	51,000
中大池中村	38	57,000	小坂台	25	37,500	青葉台	9	13,500	南竹原	23	34,500
中大池下村	29	43,500	下中原	6	9,000	本郷東	17	25,500	新星	14	21,000
下村東	28	42,000	仲町	21	31,500	南原	0	0	若葉	11	16,500
野際東	12	18,000	橋爪西	12	18,000	西原	1	1,500	野尻東	16	24,000
山口	24	36,000	橋爪東	45	67,500	四ツ谷中	7	10,500	野尻西	22	33,000
大日	17	25,500	下大池下村	18	27,000	美の里ヶ丘	19	28,500	清水高原	3	4,500
日向	30	45,000	中央通	46	69,000	唐沢上	18	27,000	合計	1,838	2,802,000

## ●山形村社会福祉協議会賛助会費（1口／3,000円 平成13年2月28日現在）

賛助会員数	117人	加入口数	137口	賛助会費	411,000円
-------	------	------	------	------	----------

## ●山形村社会福祉協議会／特別会費（1口／10,000円 平成13年2月28日現在）

- 10口 (株)ヤマジン
- 5口 JA松本ハイランド山形支所、(株)オーイケ、(株)小林創建、(株)井上、キヨミズ開発(有)
- 3口 山形村商工会、(有)タカヤマ住設、サンリン(株)
- 2口 森井自動車株、(有)横水石材店、(株)川上建設、平沢土建(株)  
ワタキューセイモア(株)長野営業所
- 1口 (株)シナノ電子技研、(有)波田通信機山形工場、(有)丸八種苗園  
佐和工業、(有)親和住宅、山形診療所、そば処かみじょう、(株)丸森  
(株)丸五山形食品、(有)ツカサ設備、(有)島村板金、(有)花岡電子  
(株)新井商店山形工場、(株)美野里、(株)まつみん、(株)松本土建  
(有)山辺鉄工所、富士コーポレーション(株)、総合機工(株)、簗町商店  
関東上野輸送(株)信州営業所、天理教信濃山形分教会、横山医院  
小林自動車、ジャスコ(株)サラダ街道ショッピングセンター、  
セブンイレブン信州山形店、(株)ヤンマー農機長野、松本信用金庫山形出張所

## 山形村の保育事情

本庄 利昭（山形保育園長）



今、日本人は世界で1番長生きをしながら、世界で2番目に子どもを産まない国民（特殊出生率1.34人）です。これだけ自由で、これだけ豊かだと言いながら、実は子どもを生めない？不自由な国に生きています。

保育という分野は、老人の介護同様に、つい最近まで家庭で行われるべきものと、考えてきました。

人気漫画の「サザエさん」「ちびまる子」のような『3世代同居の家族』から『核家族』、そして『個人単位』の社会に向って進んでいます。

山形村も、近年都市化・核家族化に向い急速な変貌を遂げています。山形保育園でも、一昔前の「ままごと遊び」で人気のあったのは「お母さん、お父さん役」でしたが、今は「ペット、赤ちゃん役」が人気となっていると保育士から聞きます。家庭でのお母さんお父さんの役割が、だんだん曖昧なものとなっているのではないのでしょうか。子ども達を見ていると、お母さんお父さんを、ままごと遊びの中でどの様に演じたら良いのか分からなくなっているように思えます。将来、ままごと家族ごっこは、子ども達の遊びから消えて行くかもしれません。

保育園では保育の方針として、厚生省（現厚生労働省）の示す保育指針を保育の基本としています。この指針は、「養護と教育が一体となって、豊かな人間性を持った子どもを育成する」ことを目指しています。平成12年に改正された保育指針では、保育所は保育に支障がない限りにおいて、乳児・幼児等の保育に関する相談に応じ助言を行う、未満児保育の充実、一時預かりや延長保育を実施するなど地域の子育て支援の役割が加わりました。

山形村も都市化や核家族化と共に、家庭の養育事情は大きく変化し、保育要求も変わって来ました。山形保育園でも地域の実状を考え、保育内容を多様化させて来ました。

子育て支援を充実させる為には、行政・地域・住民・法人などの相互の連携による子育て支援の仕組みづくりが急務だと思います。

### ◇編集後記◇

現在、様々な分野でコンピューター化が進み、色々なことが簡素化され、効率化されてきています。人と人とのコミュニケーションも、実体験的に行われる場と機会が少し減ってきているように思います。

年々問題となってきています少子化・核家族化、更には社会への女性進出による共働きの家庭の増加は、子育て環境を大きく変えてきています。しかし、この子育ての環境は、簡素化されたり効率化されてはならないものです。親子の関わりや地域と子どもたちの関わりなどを重視した、新たな子育て支援の仕組みを築き上げることが、今大きな福祉課題となっています。

編集人／社協Y.

**まほろば**

（社協広報／第22号） 平成13年3月16日発行

●発行所 社会福祉法人 **山形村社会福祉協議会**（ふれあいの館内）

〒390-1301 長野県東筑摩郡山形村3940番地の1 TEL 0263 (98) 3081 FAX 0263 (98) 3016

●印刷所 日本ハイコム株式会社